



神奈川県東ロータリークラブ

KANAGAWA EAST ROTARY CLUB

DISTRICT 2590/CHARTERED MAY 29-1976/WEEKLY BULLETIN

2014-2015年度 R I 会長 ゲイリー C.K. ホアン



第2590地区 ガバナー
大野 清一

- 会長 山田 正憲
- 会長エレクト 江森 国一
- 副会長 天野 公史
- 副会長 鴻 義久
- 幹事 植田 清司
- 副幹事 朝日 達夫
- 会計 渡邊 淳
- 副会計 白井 康夫
- S A A 小山市 康
- 副 S A A 長井 章
- 副 S A A 青柳 紀
- クラブ会報 竹山 洋



写真提供 小池将夫会員

事務局 ホテルキャメロットジャパン内 〒220-0004 横浜市西区北幸 1-11-3
TEL : 045-314-3900 FAX : 045-314-3555

例会日 毎週金曜日 0 : 30 ~ 1 : 30 PM (第5金曜日 6 : 00 PM)

例会場 ホテルキャメロットジャパン

創立記念日 昭和 51 年 5 月 29 日

URL <http://www.kanagawahigashi.com/>

E-mail kerc@beach.ocn.ne.jp

2014-2015年度 第47週報 No. 1888 2015年(平成27年) 6月19日 第1888回例会記録 6月26日発行

司会 朝日 達夫 副幹事

結婚記念日祝 伊東 英紀 会員 (6月24日)
但野真実子 会員 (6月24日)

点鐘 山田 正憲 会長

斉唱 「それでこそロータリー」

四つのテスト 角田 伯雄 職業奉仕委員長
(第1例会のみ)

ビジター紹介 神奈川県 R C 金野 克佐 様



本日〈6月26日〉のプログラム

年度末夜間例会

<< 本日の B G M >>

「浪路はるかに、峠の幌馬車、砂に書いたラブ・レター 外」



会長報告

山田 正憲 会長

- ・6月度定例理事会報告
- ・《訃報》今年度、地区クラブ奉仕委員長・地区大会委員長を兼任されていた横浜東RC岩宮浩様が6月8日にご逝去されました。ここに謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます。

幹事報告

植田 清司 幹事

- ・地区大会の報告書が届いておりますので、ボックスへ配布致しました。
- ・本日、例会終了後に今年度最後のクラブ協議会を開催致します。出席義務者の方は、ご出席の程よろしくお願い致します。
場所 5F ジュビリーⅢ
- ・次週例会は今年度最後の夜間例会となります。よろしくお願い致します。
点鐘 18時

委員会報告

次年度親睦活動委員会 委員長 友添 辰哉

次年度、親睦活動委員長を仰せつかりました友添です。一年間どうぞよろしくお願い致します。

早速ですが、8月4日（火）に40周年記念事業の一環として、澁谷会員にご協力頂き、“屋形船で横浜の花火を観る会”を開催する運びとなりました。つきましては、ご案内を本日会員ボックスへ配布致しましたので、皆様のご参加お待ち申し上げます。

スマイルボックス

長井 章 副SAA

神奈川RC 金野克佐様 お世話になります。

伊東英紀君 結婚祝い、ありがとうございます。

但野真実子さん 結婚祝いをありがとうございます。

山田正憲君 ①昨日のSAA引継ぎ会では青柳さんの奥さんに変なお世話になりました。ありがとうございました。②雨が降ったりやんだり、梅雨ですネ。

山本 登君 久しぶりに出席致しました。

河野明光君 ①青柳さん、何かとお気遣い下さり、誠にありがとうございました。②佐藤さん、お世話になりました。つつい飲み過ぎてしまいます。

植田清司君 青柳さん、昨日のSAAの引継ぎ会で素敵な会場をご提供頂き、ありがとうございました。

澁谷高弘君 青柳さん、昨日は大変美味しい料理と青柳さんご夫妻の御接待に心が温まりました。ありがとうございました。

西山 潔君 DeNA頑張る～。まだあきらめないで。これからが本番です。

小山市康君 昨日、SAA新旧引継ぎ会を行いました。次年度に向け色々花が咲き、楽しく会食出来ました。出席された方々、大変ありがとうございました。そして、青柳さん、色々お世話になりました。

長井 章君 ①昨日は、SAA引継ぎ会、欠席してすみませんでした。②来週の最終例会でのニコニコ年末調整は約10万です。皆様、ご協力下さいませ。

6月19日	11件	32,500円
本年度累計		2,244,545円

出席報告

西山 潔 出席委員長

会員総数	54名	(33+21)名	
出席会員数	47名	(31+16)名	
出席率	95.92%		
ゲスト	0名	ビジター	1名
前回補正後	93.88%	前々回補正後	91.67%

卓 話

「年度末挨拶」

◆会長 山田 正憲



年度末にあたりこの一年間皆様のご協力を改めて感謝申し上げます。本年度は「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」を合い言葉にクラブ運営を行ってきました。これはいやなことや腹の立つことがあっても笑顔を絶やさずにやっ払いこうという、自分への戒めのつもりで掲げたものですが、何とかやり遂げる事ができたと思います。

「笑顔」と言うことで、暮れの家族会か神奈川クラブとの合同賀詞交歓会で芸人による余興ができないかと考えていたところ、月山会員のお力添えで合同賀詞交歓会に破格の値段で漫才のロケット団を呼ぶことができました。和やかな雰囲気を作ることができ、月山会員に

は大変感謝しています。

会長になる前、なかなか例会に出席できない会員のことが気になっていました。

長期間例会を欠席している会員のもとに、植田幹事とともに訪問し、例会出席のお願いをしたこともありました。

また、現在かつてないほど多くの日本人世界チャンピオンがいる中で協会会長を務めている大橋会員は例会に出席することもままならない状態です。9月に行った世界タイトルマッチ観戦ツアーは、大橋会員の活動を再認識するとともに、クラブメンバーも大橋会員を応援しているということを示せた良い機会になったのではないのでしょうか。

次に委員会に関してですが、

- ・出席委員会は西山出席委員長自身が多忙を極める中、出席表彰を行うなどご尽力頂きました。
- ・吉田委員長率いる職業分類・会員選考委員会は、本年度1名のみでしたが会社訪問をしたうえで慎重な選考を行って頂きました。
- ・クラブ会報委員会は竹山委員長以下各事業の記録収集と会報作成の資料を作成して頂きました。
- ・金森委員長をはじめとする親睦活動委員会は、ロータリーデーとして開催した世界タイトルマッチ観戦ツアーと合同賀詞交歓会という通常はない2つの事業が加わり休む暇もないなかスムーズな運営をして頂きました。
- ・雑誌委員会は白井委員長はじめメンバーのローテーションでロータリーの友のタイムリーな記事を紹介して頂きました。
- ・会員増強委員会は多くの例会見学者がいましたが、入会に至らず本領発揮とまではいきませんでした。しかし、2年連続の森永委員長を筆頭に増強に向けて日々努力して頂きました。今月のガバナー月信では「主婦業」の方の入会が報告されています。当クラブでもこれから考えていく必要があるかもしれません。
- ・佐藤プログラム委員長には当初の予定とは異なる委員長を急遽引き受けて頂いたにもかかわらず、様々な分野の卓話をご用意頂き充実した例会を送ることができました。
- ・私のフォローが足りず「敗北宣言」をさせてしまった白鳥広報・IT推進委員長。ホームページの数々の不具合を修正してよりよいものになったと確信しています。
- ・ロータリー情報・研修委員会においては、飯田委員長が中心となって新会員対象のロータリー情報セミナーを開催して頂きました。
- ・職業奉仕委員会では、職業奉仕の卓話を実施するとともに角田委員長の計らいで消防センターへの職場訪問を行いました。
- ・田口社会奉仕委員長をはじめとする社会奉仕委員会は、神奈川県民まつりでのブースで過去最高額の募金を集めることができました。これは朝日会員の協力会社からの協賛があればこそで、感謝の気持ちを忘れないようにしなければいけないと思います。
- ・委員長をお願いしたとき「会長、俺に絶対させちゃいけない委員長ですよ〜」と言っていた友添青少年奉仕委員長。色々な経験をしてきた人だからこそ若い人達も魅力を感じると思い、是非務めて頂きたかった委員会でした。見立て通り、数々の事業を責任感を持ってこなして頂きました。
- ・国際奉仕委員会では台北滬尾ロータリークラブの公式訪問で姉妹

クラブの更新契約を締結することができました。また、スリランカへの井戸の寄付も継続することができました。横溝委員長をはじめ委員会の皆様のお力で、なかなか思い通りに行かないこともある海外との交渉をうまくまとめて頂きました。

- ・ロータリー財団委員会では赤堀委員長が年度末まで寄付のお願いをするなど地道な活動が光りました。
- ・米山奨学委員会では米山奨学生への対応など難しいこともありましたが安定した活動を行って頂きました。
- ・2年目を迎えたクラブ戦略計画委員会ははいよいよ次年度への提案を行うことができるまでまとめて頂きました。
- ・茂木委員長におかれましては一年間のカウンセラー、お疲れ様でした。
- ・万事、スマートにそつなく務めて頂いた天野副会長。
- ・理事会での発言にはやはり重みが違う鴻副会長。
- ・経費等について抜本的に見直し、戦略委員会でもご提案頂いた渡邊会計。
- ・白井副会計は渡邊会計を専門的な立場で補佐して頂きました。
- ・親睦委員会と協力して家族会の献立について試食会を行い、テーブルミーティングも以前のようにマスターがテーマを決めるなど諸会合の運営に力を発揮した小山S A A。
- ・更に、最初に「どんなことでも協力するよ」と言って頂いた青柳副S A A。本当にこの人に頼んで良かったと思える楽しいニコニコの発表でした。月山さんのジョークを一刀両断「つまらない」と言えるのはこの人しか居ませんでした。
- ・朝日副幹事・長井副S A Aは次年度に向けて色々なことを吸収できたのではないのでしょうか。

当初より、出席をお願いされたらよほどのことがない限りすべて出席するのが会長としての仕事だと心に決めていました。

エクアドルに派遣された伊藤君達の青少年交換学生結団式を皮切りに、米山学友の李君が活躍する米山記念奨学会の様々な事業、RYLAホストクラブとしてのRYLA委員会、地区大会コホストクラブとしての地区大会実行委員会、地区ロータリーアクトの諸事業、会長・幹事会、地区の色々な委員会活動や事業、そしてクラブが関わる団体への参加などが多岐にわたりました。

この結果、5月迄の出席率は259%、ロータリーと関係のある日は実に136日にのぼり、1日にロータリー関係のものが複数ある日も何度かありました。

このように私があちこち出歩いている反面、クラブを陰になり支えてくれたのが植田幹事です。細やかな気遣いと的確な判断で本当に助けられました。ありがとうございました。また、事務局の田中さんには筆舌に尽くしがたいお力添えをいただきました。本当に感謝しています。

反省点としては、新会員の方々への気遣いが足りなかったことです。自分たちが当たり前と思っていることを、もっと分かり易く伝えてあげなければならなかったと思います。

もう一点は増強を果たせなかったことです。何人かに声を掛けましたがなかなか色よい返事はもらえず、力不足を実感した次第です。

この一年の間に、山田富雄会員、元会員の青木久雄さん・飯田昇さん・横山範夫さん、そして富居名誉会員と吉橋会員のご家族がご逝去なさいました。謹んでご冥福をお祈り致します。

最後に、ここにいるクラブメンバー一人一人の支えによってここまで会長職を務めることができました。あと11日間、気を抜かず次年度江森会長に引き継ぎたいと思います。

一年間ありがとうございました。

◆副会長 天野 公史



2014～2015年度R1テーマ「ロータリーに輝きを」のもと当クラブ山田会長の「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」を合言葉にスタート致しました。

火山の噴火や大きな地震など自然界では大揺れな年でしたが、我クラブは会長・幹事のお人柄と地道な行動により、合言葉通り穏やかな年度になりました。

担当のクラブの奉仕部門も、各委員長を中心に活発に活動され滞りなく収めることが出来ました。ありがとうございました。

地区の米山記念奨学委員会では、選考委員会に配属され、奨学生の選考における制度的・仕組的に難しい所があり、当クラブ会員はもとよりロータリアン全員に理解頂くにはもう少し努力が必要と感じております。

副会長として十分に職責を果たせたか分かりませんが、理事・役員・会員の皆様に感謝を申し上げ、年度末の挨拶と致します。

◆副会長 鴻 義久

山田正憲会長、そして植田清司幹事で指標通りの「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」を合言葉に「ロータリーに輝きを」、見事に実践され、40周年年度に向かった充実した活動の年を運営して頂きました。お疲れ様でした。

私は、天野公史筆頭副会長に会長・幹事の補佐をお願いした状態で一年が過ぎてしまいました。四大奉仕担当副会長としても職責を果たせず、後味の悪い年度になってしまいました。

会員の皆様には、楽しい機会やご指導を頂き、ありがとうございました。



◆幹事 植田 清司

山田会長年度も残すところあと僅かとなりました。幹事を仰せつかった時は果たして務め上げられるのか、大変不安でしたが、山田会長のお人柄と、「笑顔で奉仕、奉仕で笑顔」を合言葉で一年が大過なく終えられそうです。これもひとえに皆様のご協力のお蔭で、心より感謝申し上げます。

さて、一年を振り返りますと、年度当初に40周年記念事業のメンバーが決まり、本格的に40周年に向けて活動し始めました。吉田委員長、加藤副委員長には、大変お骨折りをかけております。

8月には、青少年交換学生を当クラブから南米エクアドルに伊藤主峰君を送り出しました。彼は高校生とまだ若いながら、とてもしっかりしてしまっていて、よくエクアドルでの近況を報告してくれます。先日、海外での充実した学生生活を送っているような旨の報告を受けています。9月には、古澤一憲新会員が、我々に仲間入りをし、若い彼の力が、クラブを活気づけています。古澤会員、これからもよろしく願います。10月12日には、神奈川県民まつりが反町公園で開催され、我がクラブでは「スリランカに井戸を贈ろう」を合言葉に、社会奉仕委員会・国際奉仕委員会・親睦活動委員会などの委員会が協力して募金活動が行われました。これには、はるばる京都から同志社女子大学・京都光華女子大学のボランティアグループ20名の皆さんが駆けつけて、応援してくれました。募金額も60万円を超え、井戸も4本、トイレ1基を贈ることができました。募金をつのるにあたり、会員皆様からたくさんの物資をご提供頂きまして、ありがとうございました。11月21日には、職場訪問ということで、横浜消防局指令室及び防災センターを訪れ、火災のみならず、大きな災害に備えるべく、日夜、訓練を重ね市民の安全を守る「蔭の力」に感動致しました。有意義な訪問でした。職業奉仕委員長の角田さん、ありがとうございました。12月23日には、毎年恒例となっています「年忘れ家族会」が行われました。親睦活動委員長の金森さんには、アトラクションの選考手配、大変ご苦労さまでした。とても盛り上がった楽しい家族会でした。親睦活動委員会の皆さま、ありがとうございました。2月6日には、神奈川クラブとの合同賀詞交歓会が開催され、今年は、我がクラブの担当の年であり、ロケット団による漫才の余興ではおおいに笑わせて貰いました。ロケット団を紹介して頂きました月山さんには、大変ありがと



うございました。2月27日にはIMが、また3月29日には地区協議会とさまざまな行事に多くの会員が参加されました。5月24日には、春の家族会が開催され、ジャクサの筑波宇宙センター、筑波山をケーブルカーとロープウェイを利用した、プチハイキングを楽しみました。親睦活動委員会の皆さまご苦労さまでした。

また、例会の時間の半分を支えるためになる卓話を、いろいろプログラムして頂きました佐藤委員長ありがとうございました。

最後になりますが、幹事として至らぬ点が多々ありましたが、会員皆さまのご指導、ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。

そして、蔭で支えて頂きました事務局の田中幸実さん、大変ありがとうございました。

◆会計 渡邊 淳



山田会長より会計のお役目をおおせつかり、あっという間に1年の月日が流れ去りました。

年度末でございますので、皆様への一年間の感謝の気持ちを込めて、ひとことご挨拶させていただきます。

先ずもって、この年度お亡くなりになった飯田昇先輩、山田富雄先輩、そして横山範夫先輩に改めて哀悼の意を表します。お一人おひとりのお顔を思い出し、様々な思い出を振り返り、謹んで在りし

日をお偲び申し上げます。

さて、前年度まで会計を務められた朝日会員よりバトンを預かり、新任の会計として初年度を終えようとしているわけですが、一枚一枚の伝票に目を通し、全貌を理解することに努めることで精いっぱい的一年でありました。しかしながら、クラブ会計にミクロに接することで、当クラブ全体の課題や問題点を新たな切り口で見ることができたような気が致します。

幸い、戦略計画委員会の中で、一年を通して「クラブ会計から見るクラブの長期ビジョン」といったテーマで皆様にご協議頂き、その結果を会計のプロである白井副会計に検証して頂き、その一部を次年度予算に反映させようとしています。

消費税の増税や、会員数の減少などにより、クラブの収支バランスは確実に変化しています。それらの事をしっかりと把握し、プライマリーバランスを図っていくことが当面の課題と考えていますが、一方では、会員増強が順調に進むと、そういった問題は自然に消えてしまうこととも言えます。

そんなことを思いながら、次年度、2年目の会計を務めさせていただきますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い致します。

今年度も1年間、幾多のハードルを乗り越え、執行部が一丸となり、なにより楽しくやってくられたのはひとえに会長幹事のご人徳とお気使いによるものこの場をお借りしてお礼申し上げ、あわせて、今年もまた優秀かつにごやかにクラブを支えてくれた事務局の田中幸実さんに感謝申し上げます。

次年度、創立40周年を迎える江森・朝日年度がすべてのクラブ会員にとって充実した年度となるよう、また、我々のクラブがより活性化して発展することを祈念申し上げ、簡単でございますが、年度末に際してのご挨拶と致します。

一年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

第3回クラブ協議会開催

6月19日（金）例会終了後に今年度最後の第3回クラブ協議会が開催され、各委員長より一年間の苦労話や成果について報告がなされました。



ロータリーニュース

未来を切りひらく課外授業

1990年代初めのソ連崩壊までロシア語が第一外国語だったポーランドでは、それまで大半の人が英語を話せませんでした。しかし、1991年に同国政府が教育改革を実施、英語が第一外国語として採用されて以来、国民の英語力は飛躍的に高まり、2013年にポーランドは世界8位の英語力を誇るようになりました。

その一方で、この教育改革は資金や英語教師が不足する地方の学校には十分に及んでいません。「都市部の学校や私立学校と比べると、地方の公立学校の予算は非常に限られている」と話すのは、ワルシャワシティ・ロータリークラブ会員、アンナ・ウィツォレックさんです。ウィツォレックさんは、ポーランドの小学1～3年生の英語カリキュラム作成に携わった経験もあります。

「地方の教師は給料レベルが低く、十分な研修を受けていません。このため、英語力という点で都市部の生徒たちと大きな格差があります」

グローバル社会で必要とされる英語力

地方の学校に通う生徒たちは「現代の世界経済と労働市場から取り残されてしまう」と話すウィツォレックさん。社会的疎外の原因として、英語力の欠如を挙げます。

「設備の整った都会の学校と比べ、地方の生徒はコミュニケーション力と自信に欠けています。一般的な教育の遅れもそうですが、若年期に英語教育が受けられないがために、社会に出てからハンディを負うことになるのです」

Education First (EF) が2013年に全世界で行った研究によると、英語力が高い国は経済力が強く、一人あたりの国民所得と生活の質が高いことが分かっています。また、社内共通語として英語を義務づける多国籍企業も年々増えています。世界のビジネスの主要言語は英語であるため、グローバル社会における成功には、高水準の教育と政策に加え、英語力が必要不可欠であるとこの研究は結論づけています。

放課後に安全に過ごせる場所を

さらに、地方では多くの親が失業やアルコール中毒の問題を抱えており、その結果、子どもたちが非行や犯罪に走るケースが少なくありません。このような現状を変えようと、ワルシャワシティ・ロータリークラブ、ベルリン・ルフトブリュッケ・ロータリークラブ（ドイツ）、ミラノ・ノルト・ロータリークラブ（イタリア）の会員が45,000ドルのグローバル補助金を利用し、地方にある10の町や村の貧しい子ども約1,200人に、課外活動センターで英語や他の外国語を教えています。

このプロジェクトでは、課外活動センター向けのソフトウェアやオンライン学習教材の開発、講師の養成を行う「Good Start」プログラムと協力しています。

この活動を通じて11の課外活動センターを支援し、パソコンやホワイトボード、プロジェクター、マルチメディア機器、教材などを寄贈。それまで3年間にわたりロータリー財団の旧補助金で支援し

てきた12のセンターを含めると、合計で23のセンターを支援してきたこととなります。これらのセンターでは、地元ロータリー会員が監督係としてボランティア活動もしています。

以前、センターには机と椅子しかなく、放課後も閑散としていました。しかし、パソコンや参加型授業、熱心な講師たちのおかげで、今では多くの生徒たちが集まるようになりました。

「英語だけでなく、読み書きやパソコンのスキルも教えています。放課後に安全に過ごせる場所ができたことで、毎日の生活だけでなく、将来にもきっと良い影響があるはずですよ」

ベルリン・ルフトブリュッケ・ロータリークラブ会員、ゲルハルト・エルンストさんによると、1979年のクラブ設立以来、会員たちは恵まれない家庭の子どもたちの支援に力を注いできました。ポーランドでの取り組みはクラブが一番誇りとする活動であり、自国ドイツに移住した大勢のシリア難民やレバノン難民のために同様の活動を行いたいとエルンストさんは話します。

去る3月、センターの一つを訪れたワルシャワシティ・クラブの会員たちは、ちょうど行われていた英語の授業を見学しました。「楽しそうに参加する子どもたちを見て、思わず涙が出た」とウィツォレックさん。「彼らは、貧困と苦境から抜け出すことを夢見ています。その夢を叶えるために、できる限りのことをしてあげたいと思います」

ロータリーがポリオ予防接種活動に 4,030万ドルの補助金を提供

この度、ロータリーは、ポリオ予防接種活動のための補助金として4,030万ドルを提供することを発表しました。この補助金は、ポリオ常在国であるナイジェリアでの活動に990万ドル、パキスタン1,220万ドル、アフガニスタン230万ドルのほか、感染リスクの高いカメルーン、チャド、コンゴ民主共和国、エチオピア、ニジェール、ソマリア、南スーダン、計10カ国での撲滅活動に充てられます。

今回の支援は、ロータリーとそのパートナー団体によるポリオ撲滅活動を大きく後押しするものです。ナイジェリアでは、昨年7月24日以来ポリオの症例が1件も報告されておらず、この状態が9月まで続けば、世界保健機関（WHO）によってポリオ常在国リストから外されます。ただし、同国が完全に「ポリオフリー」と認定されるには、その後2年間、ポリオ無発生を保つ必要があります。

全世界の「ポリオフリー」実現に向けて拍車がかかる一方、ポリオが世界の一地域にでも残る限り、再び感染が広がる危険性があるため、今後も手をゆるめずに活動を続けていく必要があります。

ロータリーニュース

次回《7月3日》の卓話予定

新年度挨拶

会長、副会長、会長エレクト、幹事、会計